

Tatsuji Yamanaka

Ceramic Art Exhibition
at Midorigaoka Art Museum
in Nara, Japan

自然を写す
限りなく深く明るい青
山中辰次、青瓷白暈しの世界



古希 | 山中辰次 青瓷展

2022年7月10日(日)~9月4日(日)まで

[開館日] 水・木・土・日曜日 11:00~16:00 (入館は15:30まで) ●入場無料

[休館日] 月・火・金曜日

[会場] 緑ヶ丘美術館・本館 → 〒630-0262 奈良県生駒市緑ヶ丘 2731-10

[URL] <http://mam-museum.com> (お問い合わせは FAX で : FAX. 0743-85-7880)

まほろば陶
Produced by Midorigaoka Art Museum

MAM

Midorigaoka Art Museum

緑ヶ丘美術館



青瓷白化粧落し楕円鉢

Tatsuji Yamanaka

Ceramic Art Exhibition at Midorigaoka Art Museum in Nara, Japan

結界のない間を見せたい、
青瓷白暈し、深く明るい青瓷を追い求めて。

自然を写す



青瓷白暈し四角鉢



青瓷白暈し楕円鉢



青瓷壺「無花果」



青瓷白暈し鉢「瀑布」



青白瓷幾何文大皿

山中辰次の青瓷（せいじ）の色は、釉薬の重ねの色。その独特な深く明るい青は、青瓷釉が何回も何回も重なって初めてこの色にたどり着く。青から白へ、また白から青へと変化するグラデーションは、山中独自の「青瓷白暈し」。釉の層を丁寧に丁寧に少しずつ削り、そして磨き、ようやく気品ある姿と形状が顔を出す。作品には、浜辺の水の色、青い空と白い雲のイメージが漂い、白砂に波が打ち寄せ、静かに深みを増すことし。本展は、古都奈良に生まれ、光沢と宝石の輝きに魅せられた陶芸家・山中辰次の世界を存分に堪能していただけます。いずれの作品も情景豊かな“まほろば”の自然を写し込んだモダンでシャープなデザインの秀作揃いです。ご高覧ください。

▼ Profile — 山中辰次・陶歴

- 1952年 奈良県天理市に生まれる
- 1982年 第11回「日本工芸会近畿支部展」(現・日本伝統工芸近畿展) 初入選 (以後連続入選)
- 1985年 第23回「朝日陶芸展」初入選 (以後4回入選)
- 1987年 第34回「日本伝統工芸展」初入選 (以後25回入選)
- 1989年 第10回「日本陶芸展」入選 (以後7回入選)
- 1990年 「使ってみたい北の菓子器展」優秀賞 受賞
- 1993年 大阪高島屋 個展 (以後隔年) 日本工芸会正会員に認定される
- 2005年 岡山高島屋 個展 (以後07・09・11・13・15・17・20年)
- 2006年 第35回「日本伝統工芸近畿展」日本工芸会近畿支部長賞 受賞
- 2007年 米子高島屋 個展 (以後10・12・14・16・19年)
- 2010年 第39回「日本伝統工芸近畿展」日本工芸会賞 受賞
- 2013年 ジェイアール名古屋高島屋 個展 (以後16・19年)
- 2014年 第43回「日本伝統工芸近畿展」第一次審査委員
- 2015年 第44回「日本伝統工芸近畿展」日本経済新聞社賞 受賞
- 2020年 日本橋高島屋 個展
- 2021年 第48回「伝統工芸陶芸部会展」日本工芸会賞 受賞
- 第50回「日本伝統工芸近畿展」第一次審査委員

交通アクセス

●公共交通機関：(地下鉄中央線・近鉄けいはん線) または (近鉄生駒線)(近鉄奈良線)で『生駒駅』下車。生駒駅「南口1番のりば」より奈良交通バス「中菜畑二丁目行き」乗車→「新旭ヶ丘バス停」下車、徒歩すぐ。 ※当美術館には駐車場はございません。



Midorigaoka Art Museum

緑ヶ丘美術館

奈良県生駒市緑ヶ丘 2731-10 〒630-0262

— URL : <http://mam-museum.com> —

